



■ 会長挨拶 平林辰夫君

先日の上社における初詣、移動例会、ボーイスカウトとの餅つき奉仕ご苦労様でした。その中で、渋谷官司から令和最初の正月ということで記念の御朱印用の色紙をいただきました。この色紙は年号が変わる最初の正月にしか出さないそうです。早速、前官を皮切りに下社秋宮、下社春宮をお参りし、御朱印をいただいてきました。すべてを参拝すると記念に四社参拝記念特製巾着がいただけます。さて今回は、諏訪大社の建築に関する話をしたいと思います。江戸時代、信州諏訪に塚原和四郎が延享元年(1744年)に生まれました。これが後の立川和四郎富棟です。和四郎は13歳で江戸に出て、幕府御用の宮大工棟梁立川小兵衛富房に弟子入りしました。数年の修行の後、誠訪に戻り新たな立川流を興し、これが諏訪での立川流の始まりです。一般的に「立川流」というと江戸の本来の立川流ではなく諏訪の立川流のことを指します。それほど諏訪の立川流が後年隆盛となったからであります。立川和四郎の子供に立川和四郎富昌がいました。天才的な才能を持つ富昌は、立川流を単なる彫詞装飾から芸術の香りの高い彫刻作品へと押し上げるとともに、経営者としての才能をいかんなく発揮し、多くの有能な弟子を育て自分の分身として各地に送り出し、立川和四郎富昌の膨大な作品群が生まれていったのです。立川流の主な作品としては、江戸幕府直轄の静岡県浅間神社、長野善光寺、京都御所、諏訪大社上社、豊川稲荷、亀山や飛禪高山の多くの山車が代表的です。現代では日展評議員の立川義明さんや、彫金の三村昌弘さん(諏訪湖 RC 三村さんのお父様)、当クラブの官坂源三郎さんも立川流の系譜に乗っています。なお、小ロガバナー補佐のお宅には多くの立川流の彫刻が残されているそうです。先人の活躍に思いをはせ、改めて諏訪の良さを感じている今日この頃です。



■ お客様 諏訪グループ ガバナー補佐 小口武男様

ガバナー補佐事務局 副幹事 川村総一郎様

■ 理事会報告・幹事報告 小松賢三君

- 本日は夜間例会、新年会・ガバナー補佐訪問例会です。
- 1月12日(日)新春祈祷並びにボーイスカウトとの餅つきがあり19名の会員が出席しました。
- 1月15日(水)諏訪グループ会長・幹事会があり会長幹事が出席しました。
- 1月17日(金)諏訪グループ会員増強委員会があり塚田委員長と大石地区委員が出席しました。
- 今後の予定
 - 1月28日(火) 指定休日
 - 2月4日(火) 通常例会 卓話
諏訪中央病院 吉澤徹先生
 - 2月8日(土) 岡谷 RC 創立 60 周年
 - 2月11日(火) 振替休日

- IM の出欠表に必ず記入してください。
- 丸山一英会員より体調不良のため退会届が送られてきました。
- 北島宮司より四社参拝の御朱印色紙をいただきました。「令和最初の正月なので作りました。上社本宮の御朱印は押してあるのであとは皆さんで回って押ししてもらってください。来年は作りません。』

- 2月18日(火) 通常例会 卓話
諏訪国際交流協会 会長 松井宏次様
- 2月23日(日) 岡谷エコーRC 創立 30 周年
- 2月25日(火) 通常例会 会員卓話

■ 出席報告・ニコニコBOX 出席 24 名(出席率 61.5%) ニコニコボックス 15 名より 20,000 円

■ 例会プログラム 諏訪グループ ガバナー補佐 小口武男 様

中国へ行ったのは24歳が初めてで、青年の船の第5船で行きました。40年ほど前の話になりますが、それから毎年のように中国に行き、25年前に工場を深圳へ建設しました。その後中国は毎年のように変わっていきます。当時はマンホールの蓋がなくなり鉄などはとても貴重でした。今の深圳は東京よりもすごい状況になっています。医療技術もどんどん発展しています。日常でもスマホを持っていないと生活できないようになっています。私共の会社は現在、河南省へ新たな土地を求めています。今は中国の田舎に行けば土地を買えますが、時代と共に大きく変わっていきます。製造業もどんどん勉強をしていかなくてはならない時代です。